

感染状況に関する市ホームページの内容改訂について

1 概要

これまでも市ホームページについては、感染状況などを市民等へ正確に伝えるため随時内容を見直してきたところであるが、市内で初めての感染者が発生してから1年以上が経過したこともあり、岡山大学感染症対策部門の意見を踏まえ、感染者動向や市民等への呼びかけ内容等を盛り込み、市民周知と感染予防を図るもの。

2 改定内容

- (1) 現在の感染状況（前週との比較、市民へのメッセージ）
- (2) 直近1カ月の感染状況（感染者の推移、症状、年代、推定感染源）
- (3) これまでの感染状況（感染者の推移、症状、推定感染源、クラスター、感染事例）
- (4) その他参考資料

3 改訂予定時期

8月6日（金）

4 改訂方法

市公式ホームページ（トップページからアクセス可）

5 その他

改訂後の全体は次ページからのとおり

【岡山市】感染状況・療養状況の分析(8月1日時点)

R3.8.6
保健管理課

総括コメント

感染が拡大しており
最大限の警戒が必要

警戒レベル



区分	モニタリング項目 過去1週間合計(日～土)	前回の数値 (7月25日時点)	現在の数値 (8月1日時点)	前回の比較
----	--------------------------	--------------------	-------------------	-------

感染状況	①新規陽性者数	98人 (14人) <small>総数 (人口10万人当たり)</small>	235人 (33.6人)	↑
		2人 (2%) <small>60歳以上 (総数に占める割合)</small>	9人 (3.8%)	↑
	②区別			
	北区	52人	109人	↑
	中区	24人	46人	↑
	東区	16人	59人	↑
	南区	5人	19人	↑
	③新規陽性者における 接触歴不明者	32人	130人	↑
		33%	55%	↑
	割合(3/1)			
療養状況	④PCR検査数と陽性率(速報値)	2,628件 (3.7%)	3,470件 (6.8%)	↑
	⑤入院患者数	10人	48人	↑
	⑥宿泊療養者数	48人	122人	↑
	⑦自宅療養者数	33人	68人	↑
	⑧療養者数(人口10万人当たり)	12.3人	34人	↑

新規陽性者は人口10万人当
たり33.6人と倍増し、全区で患
者が発生している。接触歴不明
者の割合も50%を越える。

感染力が強いデルタ株の増
加により、**更なる感染拡大が懸
念される。**

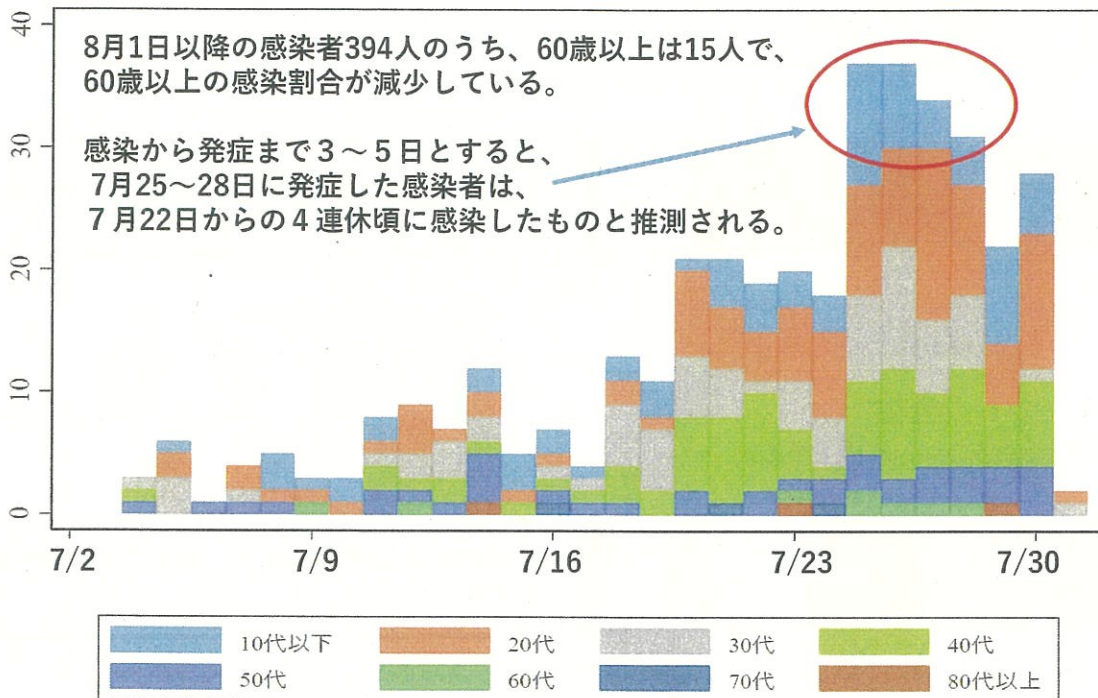
マスク着用や手指衛生等の基
本的な感染対策を行い、ワクチ
ン接種を進める必要がある。

療養者数も人口10万人当たり
34人と大きく増加している。

R3.7月以降の感染者数の推移 <発症日別>

8月1日現在

R3.8.6
保健管理課



直近1カ月の感染者の病状

令和3年7月以降に療養を終えた192人の病状 (療養中の最重症時のもの)

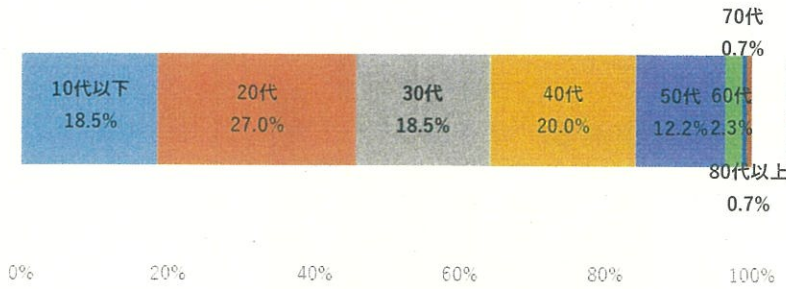
R3.8.6
保健管理課

年代	無症状	軽症	中等症	重症	合計
10代以下	4 10.3%	35 89.7%	0 0.0%	0 0.0%	39
20-30代	3 3.4%	81 91.0%	5 5.6%	0 0.0%	89
40-50代	2 3.6%	50 90.9%	2 3.6%	1 1.8%	55
60-70代	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	6
80代以上	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	3
合計	10 5.2%	171 89.1%	9 4.7%	2 1.0%	192

直近1カ月の感染者の傾向 <年代別>

直近1カ月

R3.7月以降の感染者599人



60代以上の感染者が大きく減少しています。

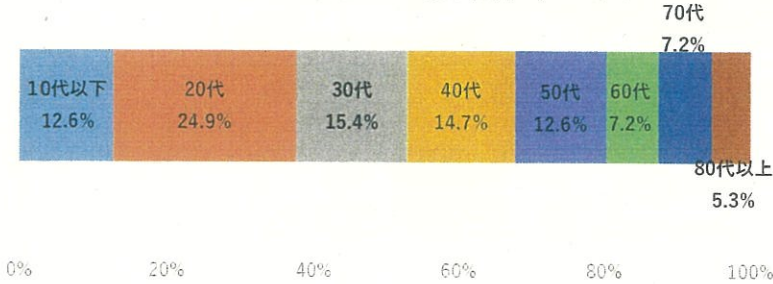
【参考】市内の人口割合

10代以下	: 18.0%	50代	: 12.7%
20代	: 10.9%	60代	: 11.2%
30代	: 11.6%	70代	: 12.2%
40代	: 14.7%	80代以上	: 8.6%

※統計月報R 3.6月より

全体

R3.8.5までの感染者4,611人

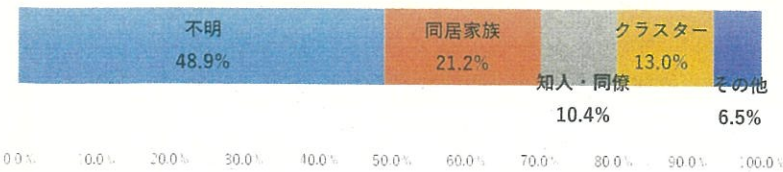


市内の人口割合に比べ、特に20代の感染割合が高いです。

直近1カ月の感染者の傾向 <推定感染源>

直近1カ月

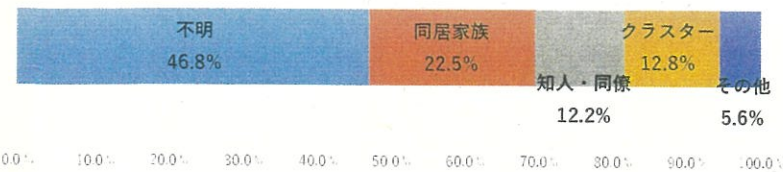
R3.7月以降の感染者599人



約半数は感染源不明。
次いで、同居家族、高校・接待を伴う飲食店・会社での集団感染からの感染となっています。

全体

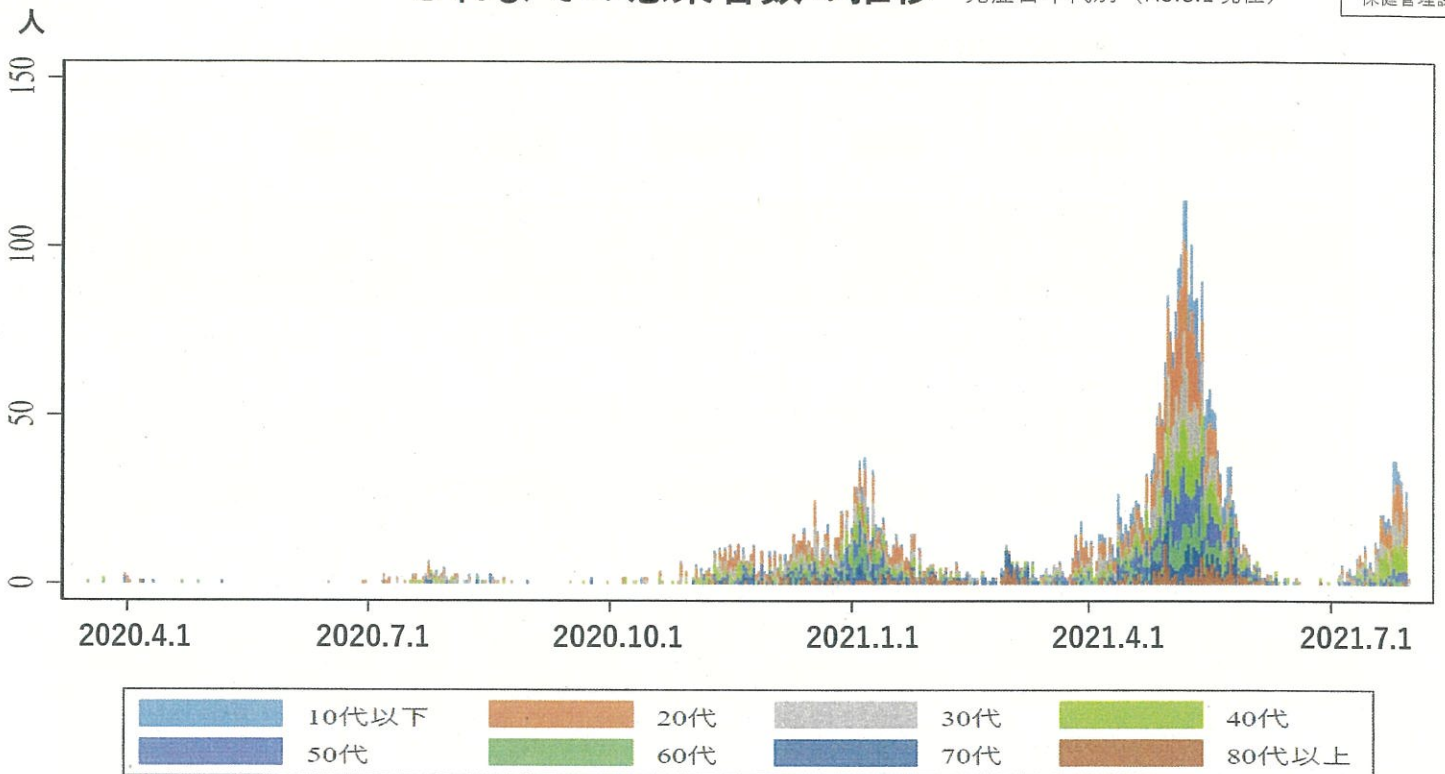
R3.8.5までの感染者4,611人



約半数は感染源不明。
次いで同居家族からの感染となっています。

これまでの感染者数の推移 発症日年代別（R3.8.1現在）

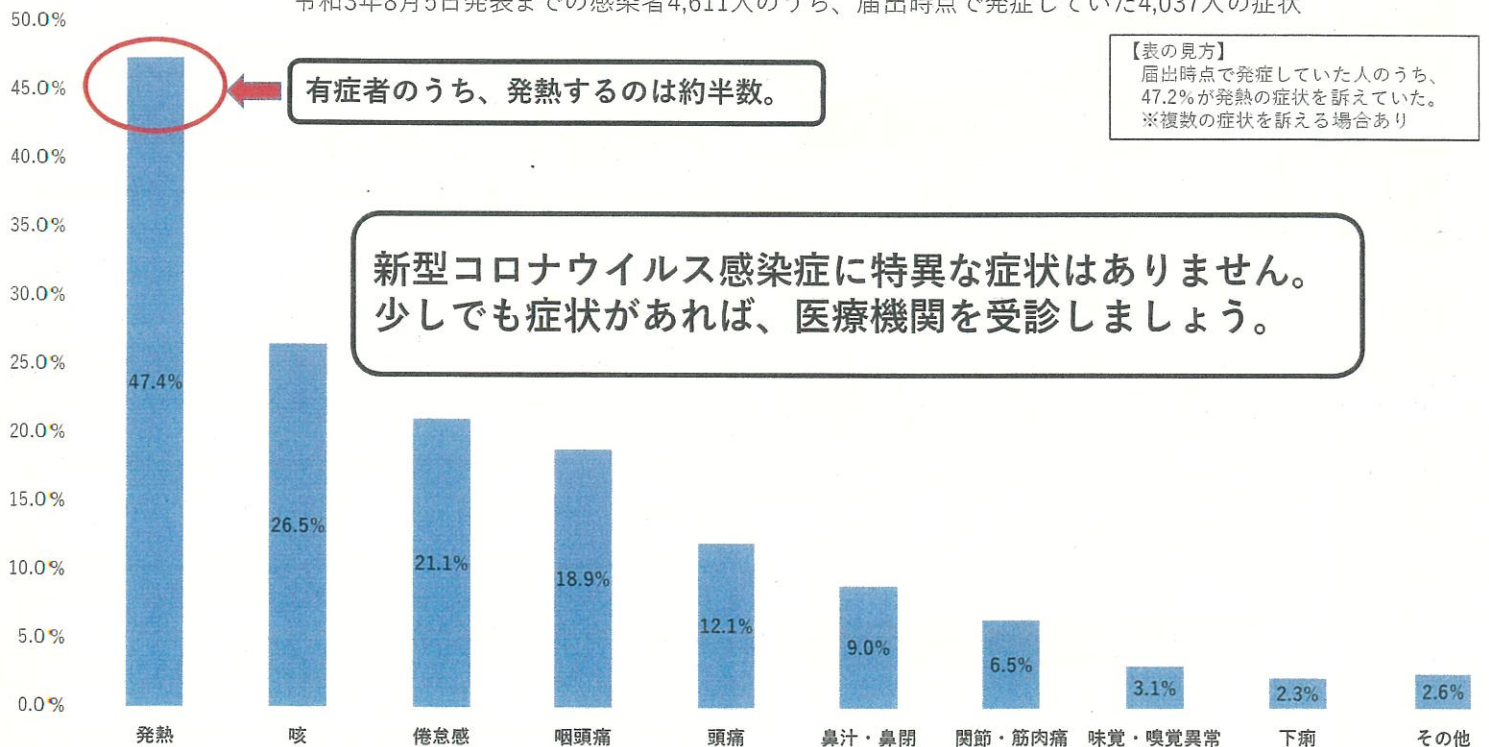
R3.8.6
保健管理課



これまでの感染者の症状

R3.8.6
保健管理課

令和3年8月5日発表までの感染者4,611人のうち、届出時点で発症していた4,037人の症状



【表の見方】
届出時点で発症していた人のうち、47.2%が発熱の症状を訴えていた。
※複数の症状を訴える場合あり

新型コロナウイルス感染症に特異な症状はありません。
少しでも症状があれば、医療機関を受診しましょう。

これまでの感染者の病状

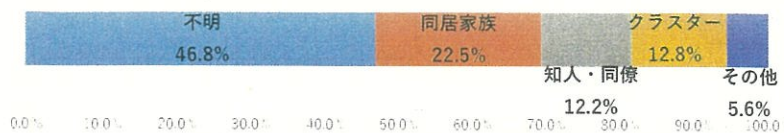
令和3年8月4日までに療養を終えた4,184人の病状（療養中の最重症時のもの）

年代	無症状	軽症	中等症	重症	不明	合計
10代以下	117 23.1%	388 76.5%	2 0.4%	0 0.0%	0	507
20-30代	153 9.2%	1437 86.4%	70 4.2%	3 0.2%	1	1664
40-50代	91 8.1%	818 73.2%	199 17.8%	10 0.9%	0	1118
60-70代	39 6.0%	314 48.2%	249 38.2%	48 7.4%	1	651
80代以上	11 4.5%	91 37.3%	136 55.7%	6 2.5%	0	244
合計	411 9.8%	3048 72.8%	656 15.7%	67 1.6%	2	4184

これまでの推定感染源

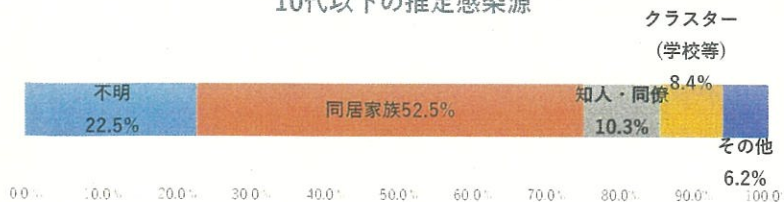
(R3.8.5現在 N = 4,611人)

推定感染源（全体）



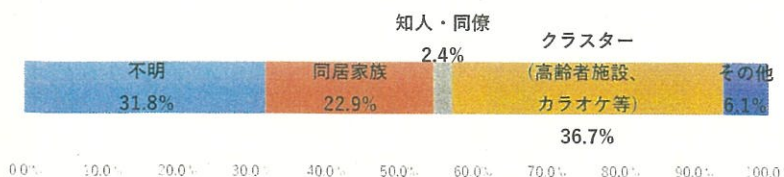
約半数は感染源不明。
次いで同居家族からの感染となっています。

10代以下の推定感染源



10代以下の感染者は、同居家族からの感染が多い。
家庭にコロナウイルスを持ち込まないことが重要です。

80代以上の推定感染源



80代以上の感染者は、施設などでの集団感染、同居家族からの感染が多いです。
施設・家庭へコロナウイルスを持ち込まないことが重要です。

これまでのクラスターの発生状況 令和3年8月5日現在

R3.8.6
保健管理課

業 態	発生数	感染者数
接待を伴う飲食店	12	154人
飲食店	6	78人
会社・事業所	8	145人
医療機関	8	97人
高齢者・介護施設	7	94人
学校・保育関係	8	116人
知人の集まり	1	5
合計	50	689人

これまでの感染事例（その1）

R3.8.6
保健管理課

1 医療関係の事業所で感染が拡大した例

【概要】○X月X日、Aさんは発熱があったが勤務を継続し、高齢者などの訪問事業にも従事し、直接に身体的接触を伴う業務も行った。
○訪問先ではマスク着用等していたが、事務所内ではマスクを外して会話や昼食などを一緒に行っていた。
○その後、検査の結果陽性が判明し、事業者においては従業員に陽性者が複数発生し、訪問先は濃厚接触者となった。
○従業員は全員濃厚接触者となったため、訪問先には他の会社から訪問事業を行うよう依頼し、日程等の調整を行った。

【感染原因】○症状があるのに出勤し勤務した。
○仕事中はマスクをしていたが、事務所内ではマスクを外して会話や昼食などを一緒に行った。

【対応策】○発熱などの症状がある場合は出勤せず、早めに医療機関を受診しましょう。
○仕事中だけでなく、昼食や休憩などの「居場所切替り」もマスク等の感染対策を徹底しましょう。

2 事業所の寮で感染が拡大した例

【概要】○従業員は寮で共同で生活をしていた。（台所・風呂等を共有していた。）
○会社（勤務時間中）では、マスクの着用や、換気など感染対策は業界のガイドラインを遵守する形で行っていた。
○従業員の中から陽性者が発生し、寮生活者をはじめとして事業所内と従業員の同居家族等に複数の感染が発生した。

【感染原因】○狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため感染リスクが高い。

【対応策】○換気を徹底しましょう。
○会話の際はマスクを着用するとともに、共有部分については定期的に消毒を行いましょう。

これまでの感染事例（その2）

R3.8.6
保健管理課

3 高校の部活動仲間で感染が拡大した例

【概要】○授業中はマスクを着用していたが、部活動中は換気等の感染対策を行いマスクを外して練習した。
○更衣室でマスクを外した状態で会話をしたり、昼食を一緒にとった。
○結果、部員の約半数が感染した。

【感染原因】○マスクを外した状態で会話をした。昼食を一緒にとった。

【対応策】○会話をする際はマスクをしましょう。
○昼食や休憩などの「居場所切替り」もマスク等の感染対策を徹底しましょう。

4 長時間にわたる飲食で感染が拡大した例

【概要】○大規模な立食パーティーを行った（マスクの着用については不明）。
○その後、小グループに分かれて2次会に行った。
○2次会の参加者から複数の感染者が発生した。

【感染原因】○飲酒を伴う懇親会は感染リスクが高まる。
○大人数や長時間におよぶ飲食は感染リスクが高まる。

【対応策】○大人数での飲食は、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、少人数での飲食を心がけましょう。
○長時間の飲食を避け、短時間の飲食を心がけましょう。

【参考】第3波(令和2年11月上旬～令和3年2月下旬)の傾向

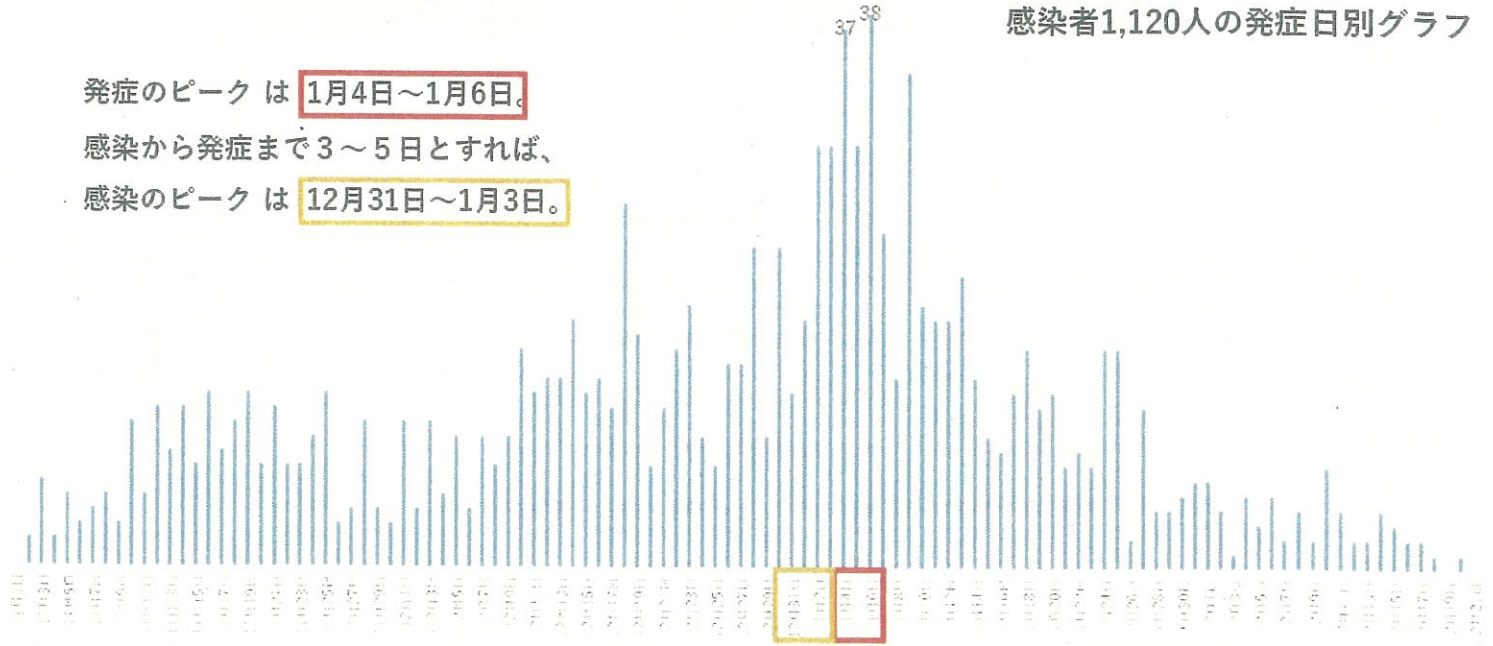
R3.8.6
保健管理課

感染者1,120人の発症日別グラフ

発症のピークは **1月4日～1月6日**。

感染から発症まで3～5日とすれば、

感染のピークは **12月31日～1月3日**。



年末年始の家族、友人間の集まりで感染が拡大したと考えられます。
人流・接触の機会が増加すれば感染が拡大します。基本的感染対策を徹底しましょう。

【参考】第4波(令和3年3月下旬～令和3年6月中旬)の傾向

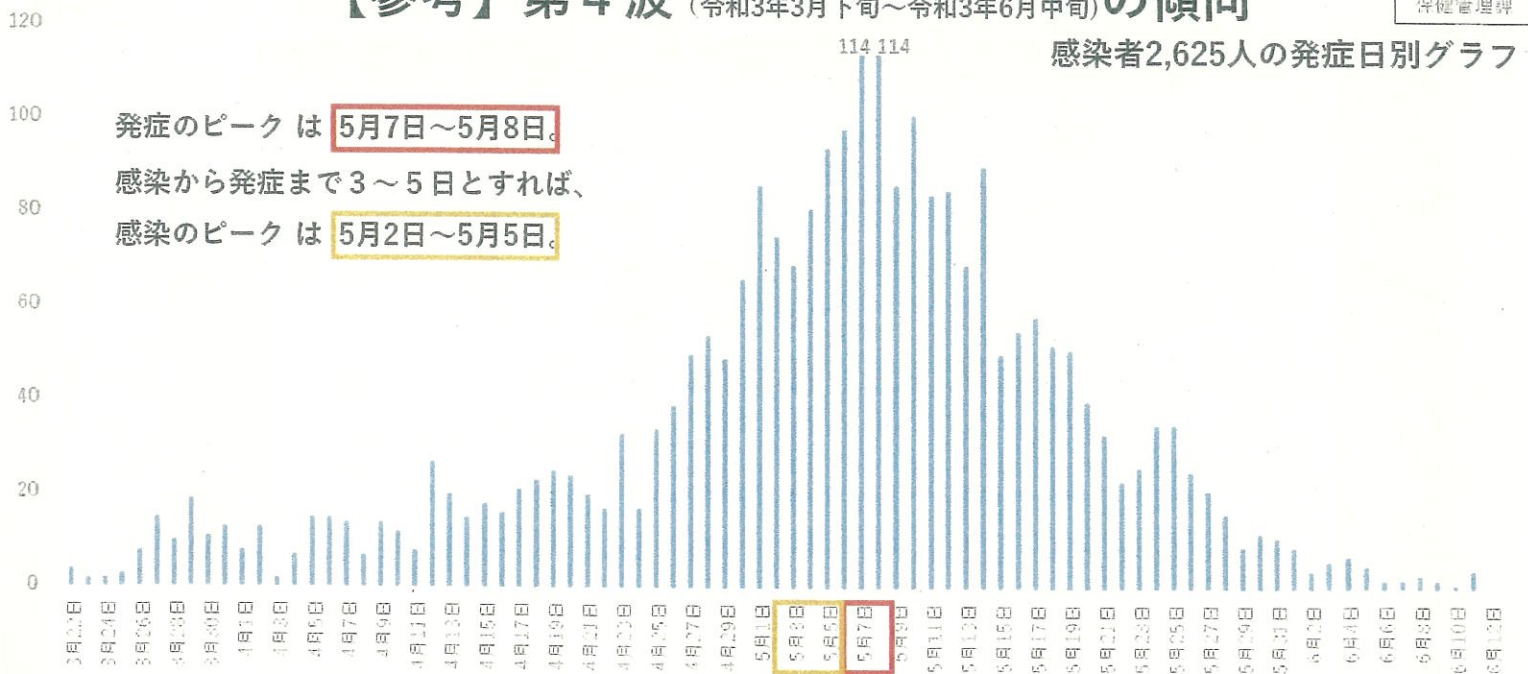
R3.8.6
保健管理課

感染者2,625人の発症日別グラフ

発症のピークは **5月7日～5月8日**。

感染から発症まで3～5日とすれば、

感染のピークは **5月2日～5月5日**。

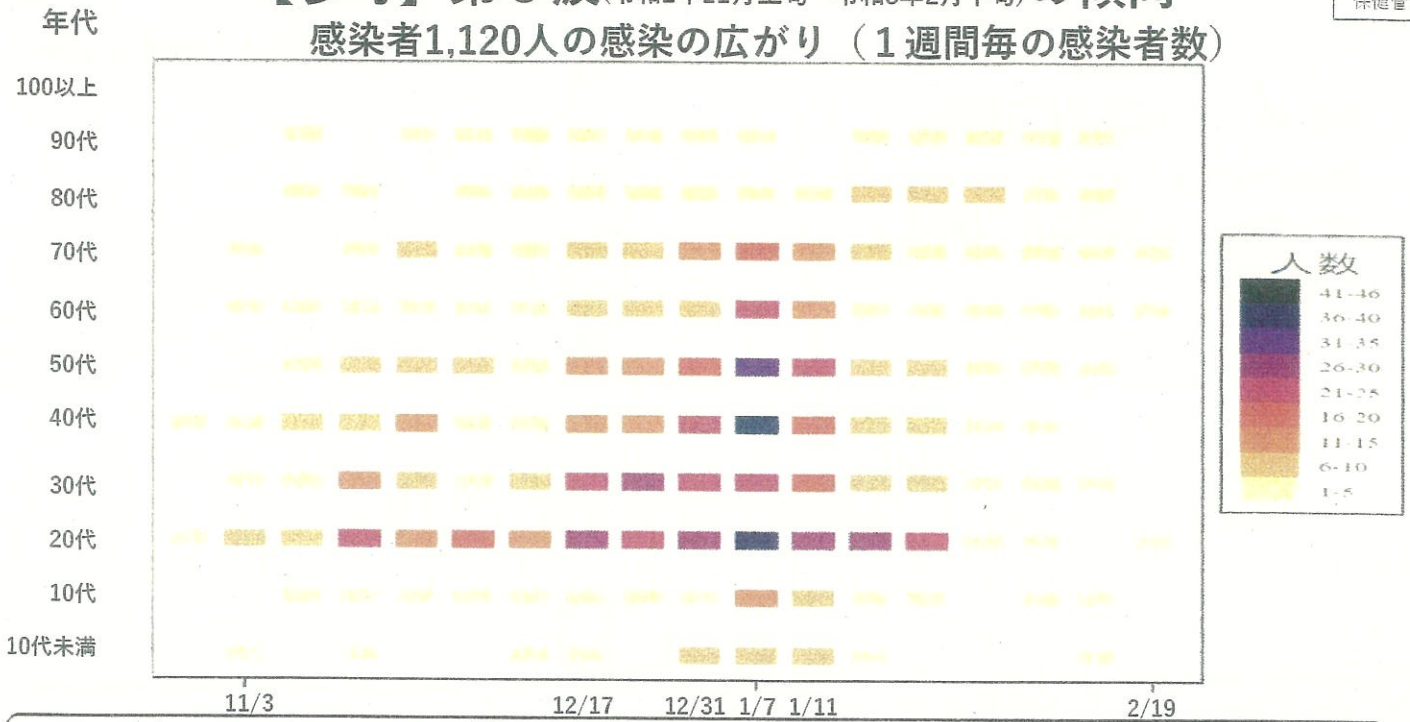


ゴールデンウィークに感染が拡大したと考えられます。
人流・接触の機会が増加すれば感染が拡大します。基本的感染対策を徹底しましょう。

【参考】第3波 (令和2年11月上旬～令和3年2月下旬)の傾向

R3.8.6
保健管理課

感染者1,120人の感染の広がり (1週間毎の感染者数)

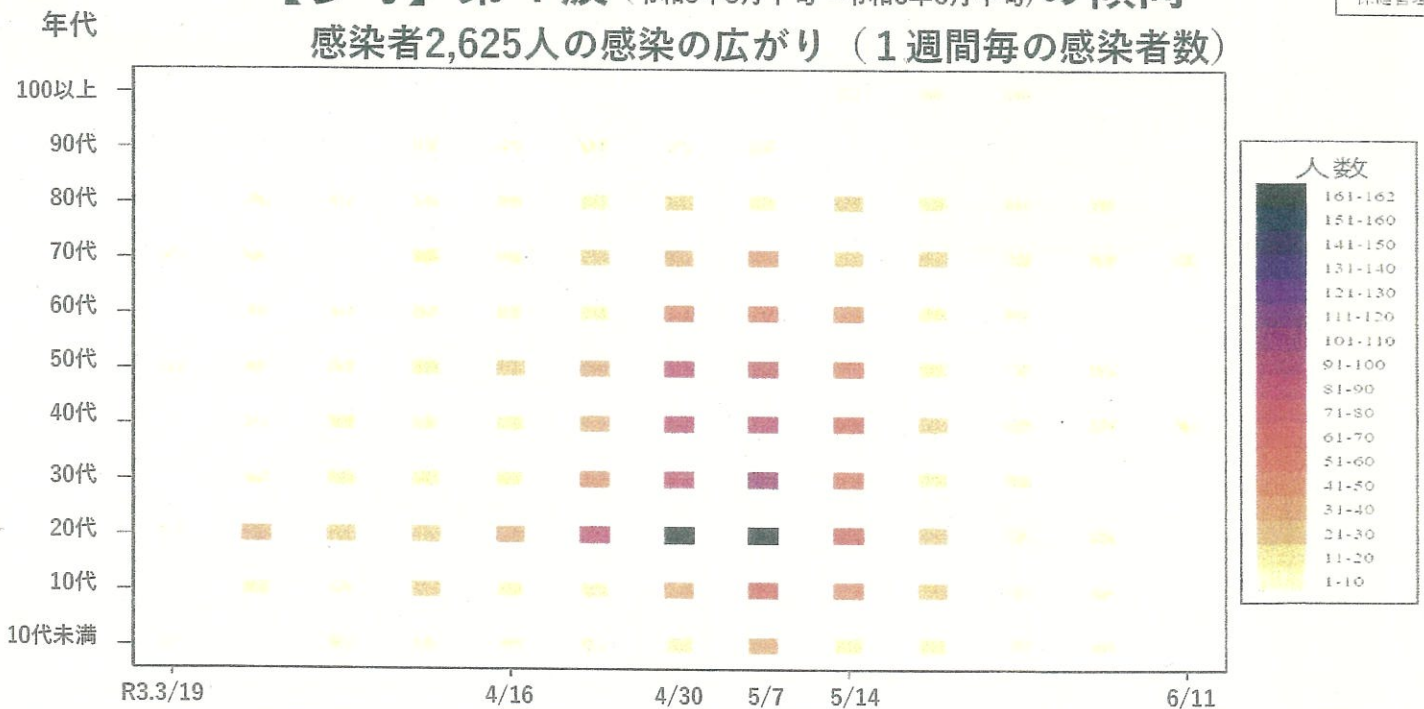


11月中旬から20代、12月中旬から30代の感染者が増加し、年末年始にかけ、各年代に感染者が一気に拡大しています。

【参考】第4波 (令和3年3月下旬～令和3年6月中旬)の傾向

R3.8.6
保健管理課

感染者2,625人の感染の広がり (1週間毎の感染者数)



20代を中心に感染者数が徐々に増加し、その後、各年代に一気に感染が拡大しています。4月30日の週、及び5月7日の週で、各年代の感染者数がピークとなっています。